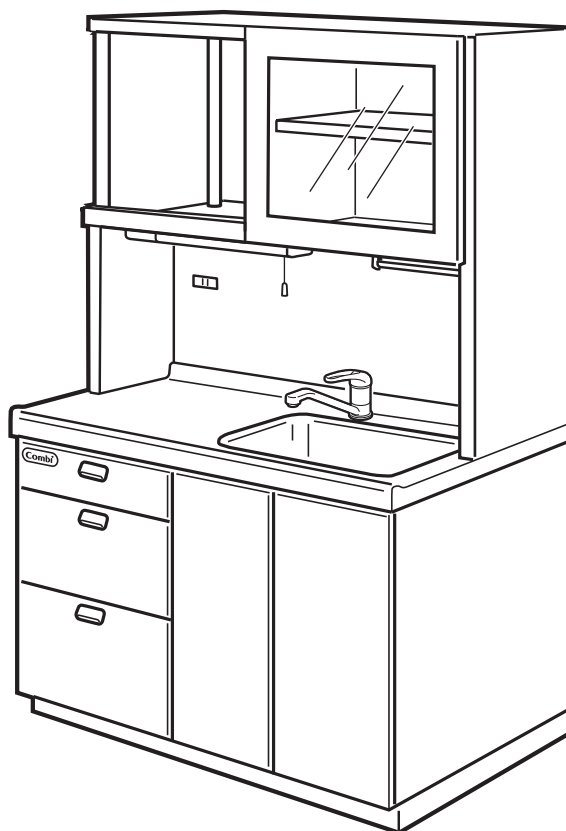


## Combi 調乳ユニットCU22 施工説明書



この度はCombi 調乳ユニットCU22をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
皆様が快適にご使用いただくためには、お施主さまの安全管理が大切です。  
本書の内容に従って正しく施工管理して下さるようお願いいたします。

水栓金具の施工は、付属品の「水栓金具K87111JV-13 施工説明書」をご参照ください。

# 目次

## ■ Combi 調乳ユニットCU22 施工説明書

1 安全に施工していただくために .....	2
2 施工者のかたへのお願い.....	2
3 各部のなまえ .....	3
4 工事説明.....	4
事前の給湯、排水、排水工事準備 .....	4
製品設置時の給水・給湯、排水工事準備 .....	5
5 設置手順.....	6

## ■ 巻末資料

施工図(壁給水/床給水)

※本書に使用しているイラストは、操作方法などを分かりやすく説明するため、製品とは若干異なる場合があります。

# Combi 調乳ユニットCU22 施工説明書

## 1 安全に施工していただくために

- ここに示した注意事項は、施工方法、および取り扱いを誤るとお子さまや操作しているかたへ危害や物的損害の発生が予想される事項を、危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」「注意」に区分し表示しています。ご使用前によくお読みの上、安全のために必ずお守りください。

<b>⚠ 警告</b>	この表示を無視し誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
<b>⚠ 注意</b>	この表示を無視し誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が起こる可能性がある内容を示しています。

## 2 施工者のかたへのお願い

<b>⚠ 警告</b>	●製品を改造しないでください。 思わぬ事故につながるおそれがあります。
	●製品を安全に使用していただくために、日常点検と定期点検をお願いします。 点検を怠った場合、製品の老朽化や破損が発見されず、ケガや重大事故の原因になります。
	●故障した製品は、放置しないでください。 誤って使用したり、お子さまが遊んだりすると、ケガや重大事故の原因になります。
	●目的以外の用途でのご使用はおやめください。 誤ったご使用は、ケガや重大事故の原因になります。

※施工終了後、製品表面を乾ばきして、ほこりを取り除いてください。

<b>⚠ 警告</b>	
●	専門技術者以外の方は、絶対に取り付け、修理を行わないでください。
●	湯水の配管を逆にしないでください。(水を出そうとしても湯が出てヤケドをすることがあります。)
●	本体が倒れて思わぬ事故につながりますので、下記の事項をお守りください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・上置きキャビネットは、必ずコースレットスクリウで下置きキャビネットに締付けて固定し、シリコンバスボンドにて水の侵入を防いでください。(使用中、上置きキャビネットが倒れることがあります。)</li> <li>・本体上部を手前や横に強く引っぱったり、倒したりしないでください。</li> <li>・扉部分に強い力をかけたり、衝撃を与えたりしないでください。</li> <li>・設置後や地震発生後は固定部のゆるみがないか確認してください。</li> </ul>
●	設置は必ず壁ぎわに設置して、L金具で壁に固定してください。(使用中、本体が倒れることがあります。)
●	水漏れ事故はお客さまだけでなく近隣にも多大な迷惑、損害を与えます。施工時、施工後に水漏れなどがなく接続部の点検・確認をしてください。
●	凍結が予想される場所には設置しないでください。
●	屋外および傾斜のあるような壁面、振動の激しい場所には取り付けしないでください。取り付けが不安定になり、本体が倒れてケガ、ときに死亡するおそれがあります。

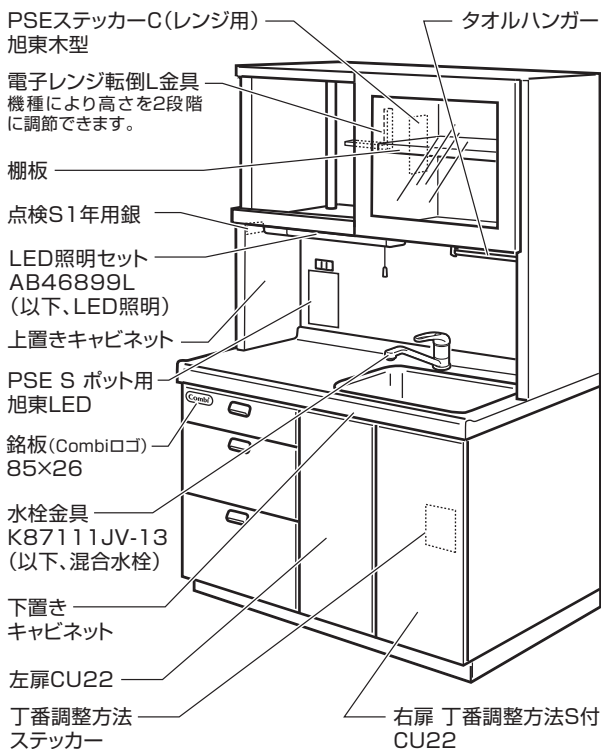
## ⚠ 警告

- 電子レンジ用コンセントの電源プラグは、必ずアース線を配線してください。  
(故障や漏電のときに感電するおそれがあります。)
- 電源コードは、折れ、ねじれ、圧迫がないようにしてください。また、余裕を持たせて接続し、引っ張りすぎなどがないように設置してください。  
(発熱やショートの原因になります。)
- 水栓金具の施工については水栓金具K87111JV-13施工説明書を、照明の取り扱いについては照明用取扱説明書AB46899Lをご参照ください。

## ⚠ 注意

- 床面に水を流して清掃するような場所(調理室のタイル床など)へは設置しないでください。  
(木部が腐って強度が保てなくなることがあります。)
- 施工前に必ず配管内の掃除を行ってください。水栓金具が詰まって湯水が出なくなるおそれがあります。
- 施工時、配管内に切りかすや粉じんが入らないよう注意してください。(混合水栓が詰まって温度調節ができなくなるおそれがあります。)
- キャビネット扉(左右)を100度以上開けないでください。スライド丁番が破損します。  
(なお、設置作業などの際、キャビネットの扉はスライド丁番からワンタッチで取りはずすことができます。)
- 施工作業時にはキャビネット扉(左右)をはずして作業してください。指をはさんだりケガをするおそれがあります。
- 混合栓を動かして確実に機能していることを確認してください。
- 使用する水は、必ず上水道をご使用ください。皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。
- キャビネット、シンクの上に乗って、作業をしないでください。足をすべらせてケガをしたり、製品に傷をつけるおそれがあります。
- 製品に硬いものを落としたり、ぶついたり、強い衝撃を与えないでください。破損して製品が割れたりし、ケガをしたり水漏れを起こすおそれがあります。
- 給水、給湯管および排水、排水管の接続は手順に従って確実に行ってください。誤った施工をすると漏水をおこすおそれがあります。
- 電源コードは2本ありますが、電子レンジ用はアース付100V15A定格のコンセントに、もう1本は別配線された100V15A定格のコンセントへ別々に接続してください。(1ヵ所のコンセントに2本接続すると、ブレーカーが落ちるか、コンセントが異常に加熱することがあります。)

## 3 各部のなまえ



次の部品があることを確認してください。

### ■ 付属部品

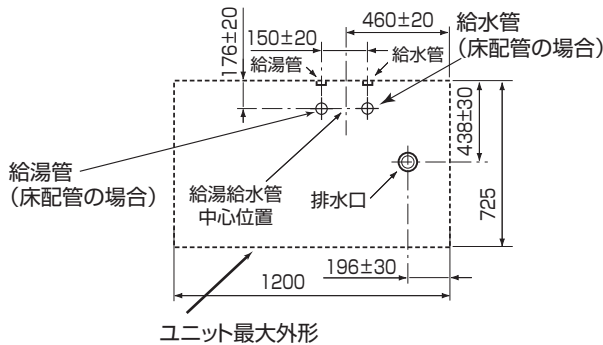
コースレットスクリュー		9本	CU22 施工説明書(本書)		1部
			CU22 説明マニュアル<保証書付> おことわりペラ CU22		各1部
電子レンジ転倒L金具		1個	・照明用取扱説明書 AB46899L ・相談窓口案内ペラ LED		各1部
TP皿 3525 S		4本	水栓金具K87111JV-13 取扱説明書 施工説明書		各1部
L金具		2個	施工業者様への手引き CU22		1部
TP皿 3116 C		4本	逆止弁袋入り MV8430-1S		1セット
棚ダボ (以下、ダボ)		4個	抜け止めカバー …2個 クイックファスナー …2個		
シリコーンバスバンド		1個	棚板		1個

※混合水栓配管用の止水栓、接続管は別途ご用意ください。

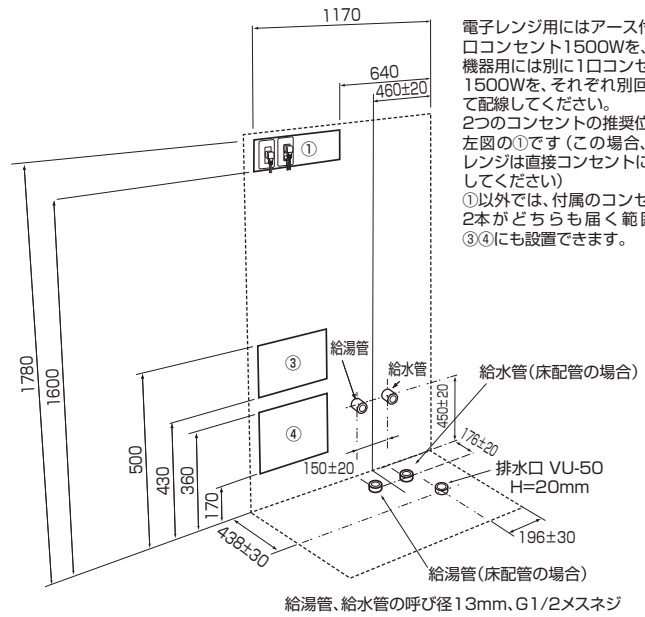
## 4 工事説明

排水口、給湯管、給水管の位置を先に確認してください。(下図は当社のおすすめする配管位置の参考寸法です。)

\*排水口位置の許容±30は、直管配管の場合は無効です。



【図1】



【図2】

電子レンジ用にはアース付き1口コンセント1500Wを、卓上機器用には別に1口コンセント1500Wを、それぞれ別回線にて配線してください。  
2つのコンセントの推奨位置は左図の①です(この場合、電子レンジは直接コンセントに配線してください)  
①以外では、付属のコンセント2本がどちらも届く範囲で、③④にも設置できます。

### ■ 事前の給湯、排水、排水工事準備

#### (1) 給湯、給水管

止水栓は別売のため、別途ご用意ください。付属の専用逆止弁は、呼び径13、G1/2(めねじ)になります。接続部には同梱のパッキンを使用します。

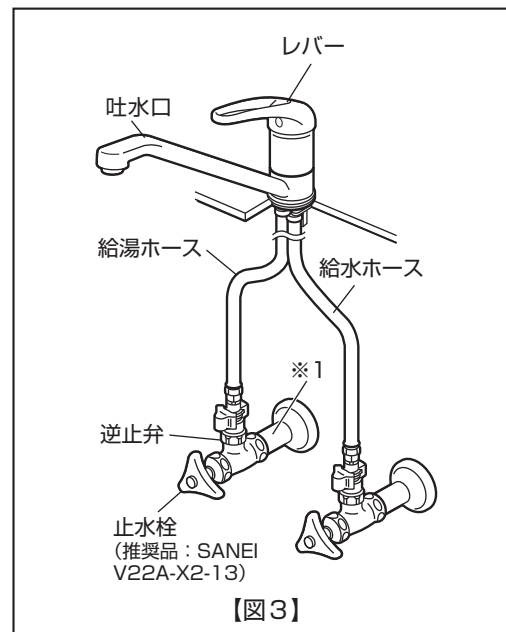
- ① 壁から給水(湯)口を接続する場合は、【図1】【図2】の推奨位置で【図3】のとおり接続してください。
- ② 床から立ち上げた場合は、【図1】【図2】の推奨位置で、ストレート形止水栓をご使用ください【次ページ図6】。止水栓は巻末資料(施工図)を参照して適切な位置に設置してください。

#### (2) 排水口

- ① 排水口の径は、直径50mmで、直線出張りが20mm以上にしてください【図2】。
- ② 排水口はかならず、床面に設置してください。壁面排水では勾配が取りにくく、排水が流れなくなることがあります。
- ③ 付属品使用の場合は【次ページ図4】、直管配管の場合は【次ページ図5】のように接続してください。

- (3) ボイラーがない場合で、ガス瞬間湯沸器を設置するときは、12号以上の給湯器を設置してください。

### ■ 壁給水施工例



【図3】

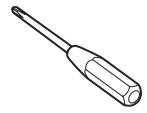
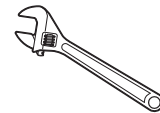
※1 施設側から止水栓までの給湯管は熱くなりますので、市販の断熱チューブをお客さまにて取り付けをお願いいたします。

※2 床給水の場合は、巻末資料/施工図(床給水)をご参照ください。

## ■ 製品設置時の給水・給湯、排水工事準備

準備していただく止水栓とは下記の手順で接続します。必ず付属品の「水栓金具K87111JV-13 施工説明書」を参照して、接続してください。

必要工具 下記の工具を用意してください。



スパナ (呼び[対辺] 24mm、26mm) モンキーレンチ プラスドライバー

### ⚠ 注意

#### ホース施工上の注意

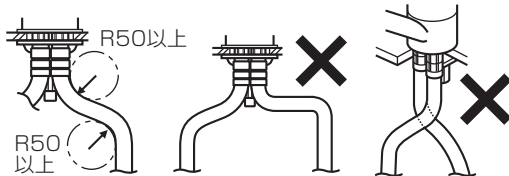
※下記事項は必ず守ってください。ホースが折れ、折れた部分で早期破壊を生じる可能性があります。

ホースが折れた状態でご使用にならないでください。

●ホースの最小曲げ半径は50mmです。ホースを極端に屈曲しないでください。

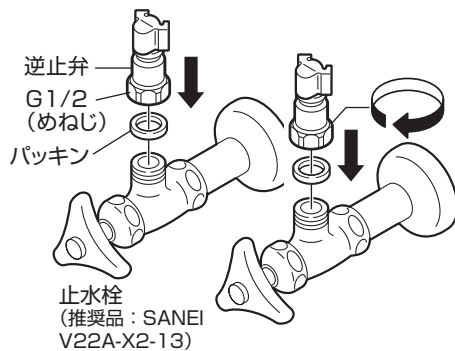
●ホースを必要以上の力で曲げたり、無理に引っ張ったりしないでください。

●ホース同士の不要な接触は避けてください。摩擦による外傷でホースの性能劣化の可能性があります。



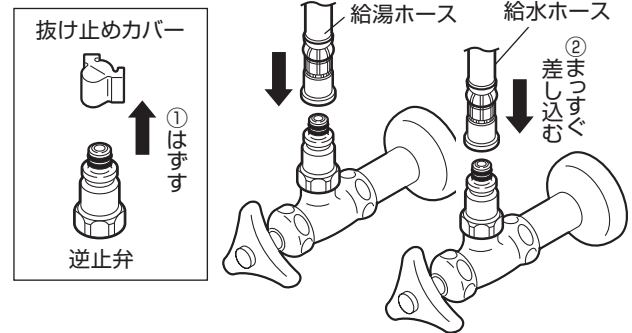
### 1 逆止弁を取り付けます。

カウンター表面から給水・給湯ホース先端までの長さの確保を行ってから逆止弁を止水栓に固定してください。



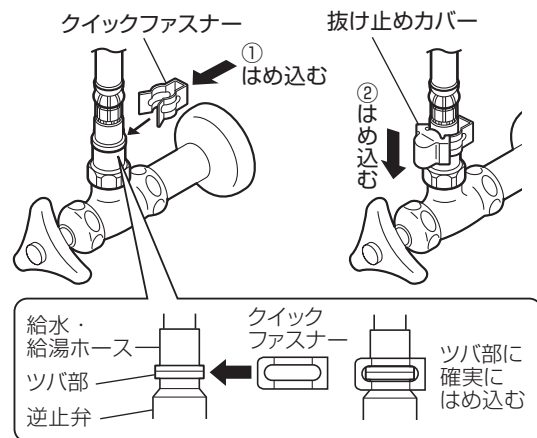
### 2 逆止弁と給水・給湯ホースを接続します。

(1) ①逆止弁の抜け止めカバーをはずし、②給水・給湯ホースを逆止弁のツバ部がすき間なく合うまで差し込んでください。

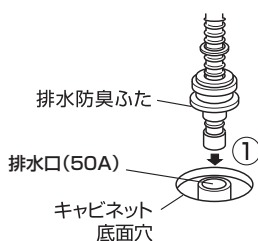


(2) ①クイックファスナーを給水・給湯ホースと逆止弁のツバ部に「カチッ」と音がするまで確実にはめ込んでください。

②次に抜け止めカバーをクイックファスナーに確実にはめ込んでください。



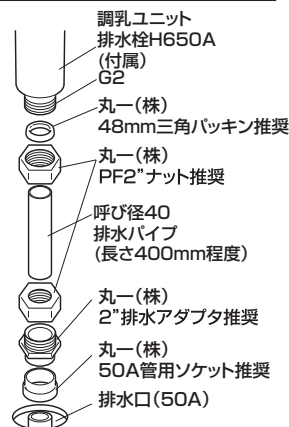
### 排水口接続(付属品使用の場合)



【図4】

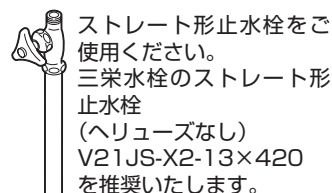
①排水防臭ふたを通した排水管のジャバラホース先端を排水口に入れ、排水防臭ふたを押し込みます。

### 排水口接続(直管の場合)



【図5】

### 床からの給水(湯)



【図6】

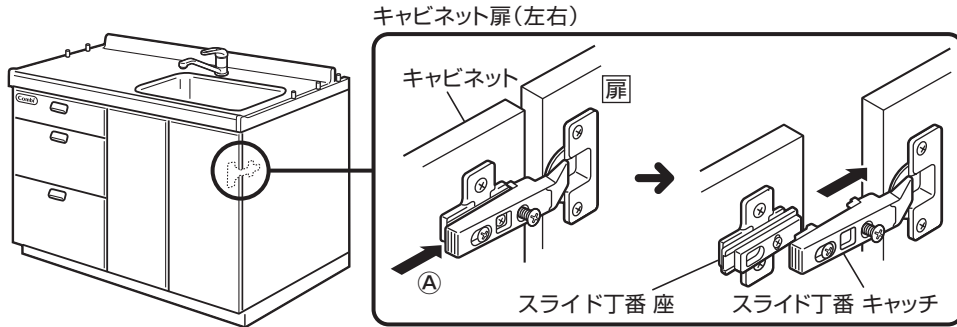
## 5 設置手順

必要工具 下記の工具を用意してください。



### 1 キャビネット扉(左右) 2枚をはずす。

スライド丁番 キャッチのAの部分を押し、スライド丁番 座からスライド丁番 キャッチと扉をはずします。



**警告**

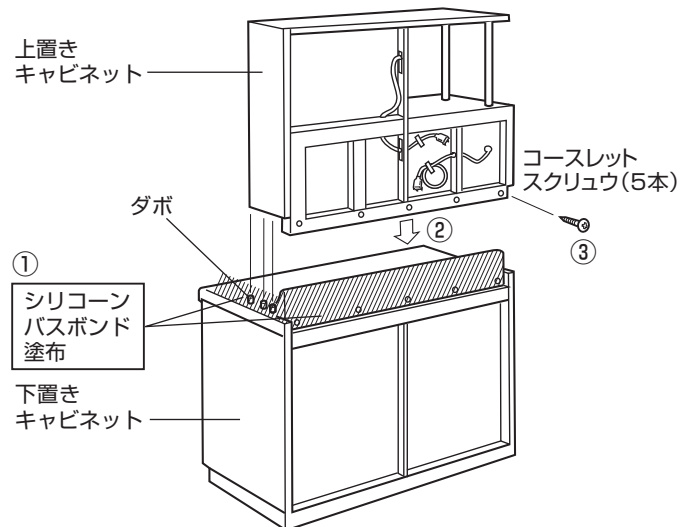
- キャビネット扉(左右)をはずさない場合は、100度以上開けないでください。  
(スライド丁番のネジがゆるむことがあります)

### 2 下置きキャビネットを設置場所に仮置きする。

排水口、給湯管、給水管の位置を合わせ、ホールソーなどでキャビネットに適切な大きさの穴をあけます。

### 3 下置きキャビネットを設置場所からいったんはずし、上置きキャビネットを取り付ける。

- ① 右図の斜線部には、嵌合部から水が侵入しないように上下キャビネットの間から、シリコンバスボンドがはみ出るように多めに塗布してください。  
※上置きキャビネットの左右板幅と同じ程度の量を塗布し、すき間がないように塗布してください。
- ② 下置きキャビネットのダボに合わせ、上置きキャビネットを上から組み付けます。
- ③ プラスドライバーを使用してコースレットスクリュー(5カ所)をネジ穴に合わせ、締め込みます。はみ出したシリコンバスボンドはコーナー部を残し、嵌合部にすき間がないようにふき取ってください。



**警告**

- コースレットスクリューは必ず締め付けてください。  
(上置きキャビネットが倒れることがあります。)
- 上下キャビネット組立時には必ず斜線部に少し多めのシリコンバスボンドを塗布し、水の浸入を防いでください。

### 4 電源プラグを接続する。

- 電子レンジ用のアース端子付電源プラグは、壁に設置されたアースターミナル付コンセントにアース線を接続し、電源プラグを差し込みます。
- LED照明、卓上機器用電源プラグは別配線で設置されたコンセントに差し込み、接続します。
- 電源プラグの接続が完了したら製品を設置場所に配置します。

## 5 給湯管、給水管を接続する(4～5ページ参照)。

接続方法については、付属品の「水栓金具K87111JV-13 施工説明書」をご参照ください。

### ⚠ 警告

取り付け前に必ず通水し、配管内のゴミを洗い出してください。

●湯水の配管を絶対に逆にしないでください。

(水を出そうとしても湯が出てヤケドをすることがあります。)

●給湯温度が60℃を超える場合には、止水栓などを断熱材で覆ってください。触れるとヤケドのおそれがあります。

## 6 排水管を接続する(4～5ページ、巻末資料/施工図 参照)。

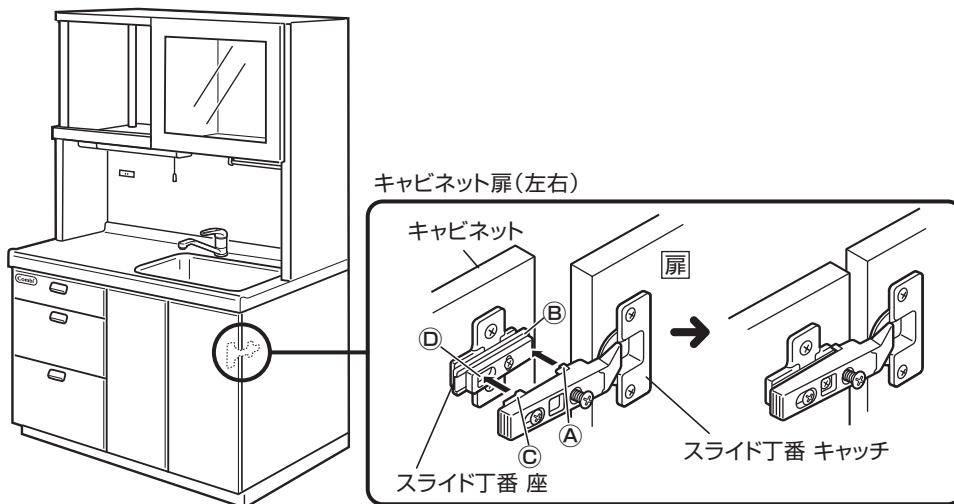
## 7 実際に湯水を出してチェックする。

●給湯水、排水接続部に水漏れがないかチェックします。

●混合水栓のレバーを動かして湯温が変わるかチェックします。

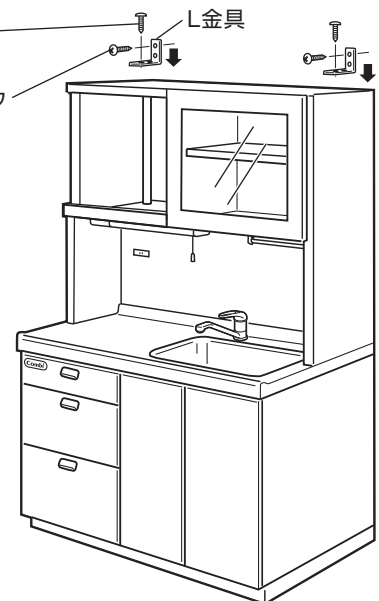
## 8 扉を取り付ける。

Ⓐのツメをⓑ部にひっかけ、ⓒのツメをⓓ部にはめる。



## 9 L金具を上置きキャビネット上部両端に取り付け、プラスドライバーを使用して壁に固定する。

TP皿 3116 C (2本)  
L金具  
コースレットスクリュウ (2本)



## 10 ガラス戸棚内の棚板を取り付ける。

ダボ穴の3つある中間にダボを差し込み、棚板の溝に合わせ、のせます。

## 11 扉の高さが合っていない場合は、キャビネット内部の右扉内側に明記されている丁番調整方法ステッカーに従って調節する。



12 最後にもう1度以下の内容をチェックする。

 **注意**

- ①上置きキャビネットと下置きキャビネットが確実に固定されていること。
- ②本体が壁面に確実に固定されていること。
- ③混合水栓を動かして確実に機能していること。
- ④LED照明のスイッチを入れ照明がON、OFFすること。
- ⑤設置した電気製品がそれぞれ動作すること。
- ⑥引き出しは抜け止めストッパーが効いていること。
- ⑦タオルハンガーにガタやゆるみがないこと。
- ⑧水を流して水漏れがないこと。
- ⑨跳ね上げ扉を上に向けて止まること。

# Combi

本マニュアルは、コンビウィズ ホームページ([www.combiwith.co.jp](http://www.combiwith.co.jp))からもダウンロード(PDF)できます。ご活用の程、お願いいたします。

●製品に関するお問い合わせ

## コンビウィズ株式会社

本社/〒111-0041 東京都台東区元浅草2-6-7  
URL/[www.combiwith.co.jp](http://www.combiwith.co.jp)

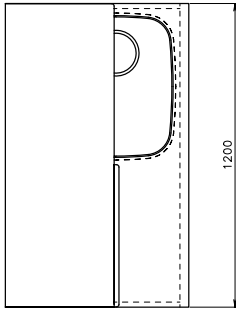
●修理・点検に関するお問い合わせ/コンビウィズ(株) サービスセンター

[受付時間] 祝祭日を除く、月～金 10:00～17:00

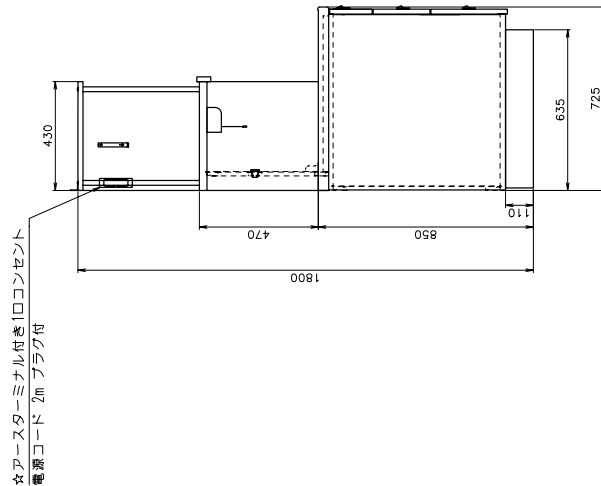
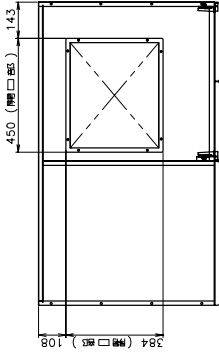
**TEL.03-5806-4621 FAX.03-5828-7630**

特記事項

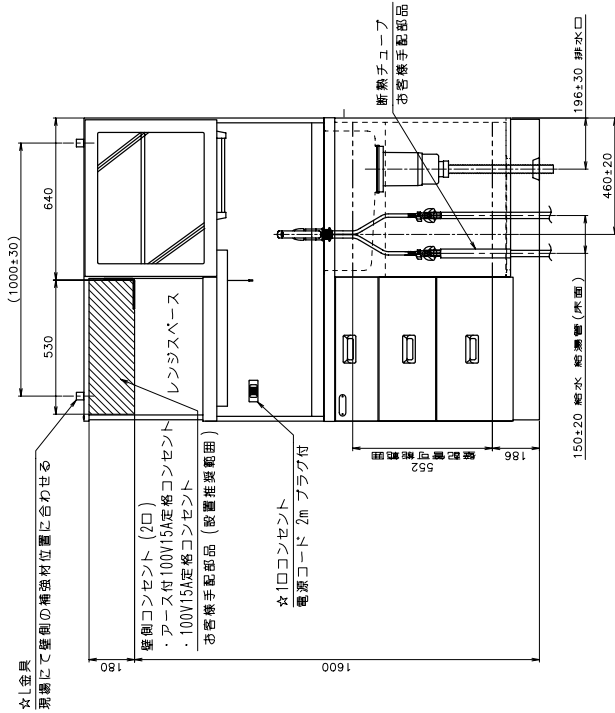
1. 給湯管・給水管・排水管の位置は現場確認願います。(図面上の寸法は参考です)
2. 給湯管・給水管の口は呼び径13mmスネッチにて下さい。
3. 排水口の径は、最低30mmで床面から20mm出して下さい。
4. ホイラーガナは、必ず新設の湯沸器を設置する場合、12号以上の給湯器を設置してください。
5. アース付100V15A定格コンセントと100V15A定格コンセントをそれぞれ別回線にて配線してください。
6. 給湯管・給水管をそれぞれ付属の逆止弁付接続金具を接続願います。
7. 止水栓は2個ご利用願います。
8. 現場によって給湯口・給水口・排水口の径や出口底が異なる場合があります、お入れの径が異なる場合は、お入れの径より大きめに現場確認願います。
9. 設置工事には、必要工具を準備願います。
10. 排水口にはかならず排水防臭心を押し込んでください。
11. 本製品は上下キャビネットの合せ部は施工説明書に従い、シリコーンパストを塗布願います。
12. 印刷部品は付属してあります。
13. 給湯管には断熱手配品を準備願います。
14. 配管作業完了後は各接続部にゆるみがないことを確認してください。
15. 水漏れ発生の原因となります。



底板図



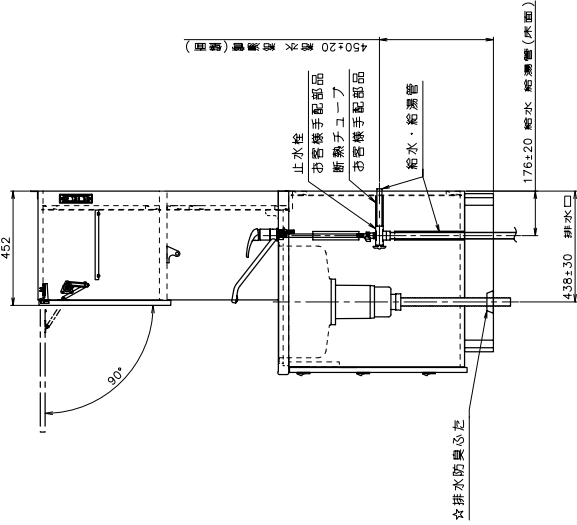
☆アース付100V15Aコンセント  
電源コード 2m プラグ付



☆L金具  
現場にて壁側の補強材位置に合わせる

- 壁側コンセント (2口)
- ・アース付100V15A定格コンセント
- ・100V15A定格コンセント
- お音機手配品 (設置推奨範囲)

☆10コンセント  
電源コード 2m プラグ付



☆排水防臭心芯

- 止水栓
- お音機手配品
- 断熱手配品
- お音機手配品
- 給水・給湯管

本図の寸法は参考値となります。  
施工図